



エタノール直接混合(E3等)の問題点

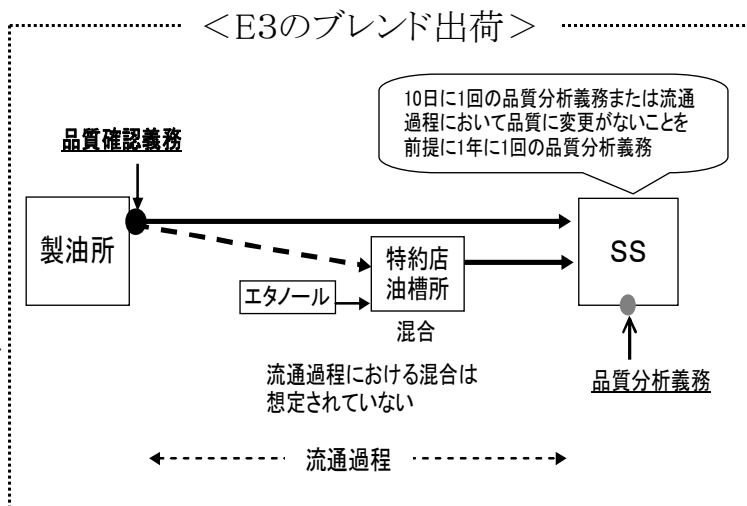
1. 品質確保法上の問題

流通過程でのエタノール直接混合により不良ガソリンが出回るおそれ有り

エタノールガソリンは
流通過程の水分混入を防ぐため、
ローリー積込み直前で混合・出荷。



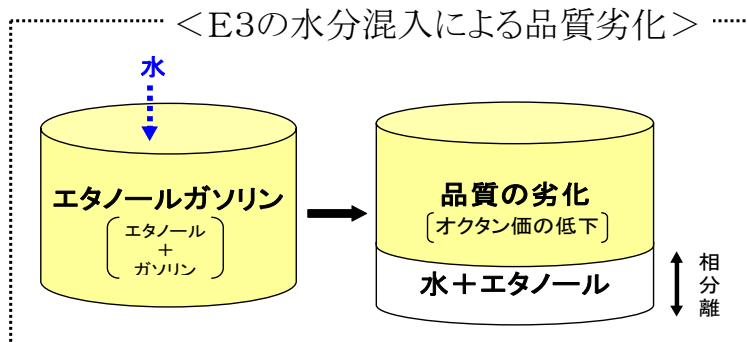
しかし、品質法では、品質確認を
製油所出荷時に義務付けているのみ
で、出荷以降(油槽所での混合)は
品質確認義務がないため、
不良ガソリンが出回るおそれ有り。



2. 製造物責任の問題

品質が変わるため元売としてE3の製造物責任は果たせない

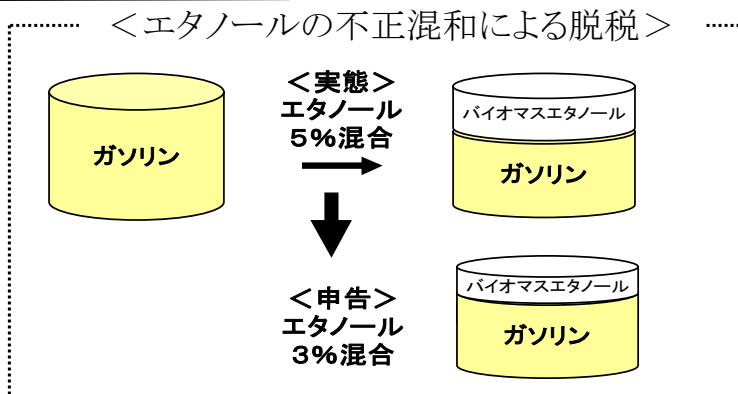
- ①エタノール混合率が不適合・
水分管理が不徹底の場合には、
品質劣化(オクタン価低下)および
自動車部品腐食が発生。
- ②元売の管理下で製造されない
製品の品質保証はできない。



3. ガソリン税脱税の問題

脱税を目的にエタノール不正混合などが発生する

- ①流通段階でエタノールを混合した
場合の混合比率の虚偽申告等
による脱税が発生。
- ②脱税ガソリンが流通すること
による市場の混乱が発生。



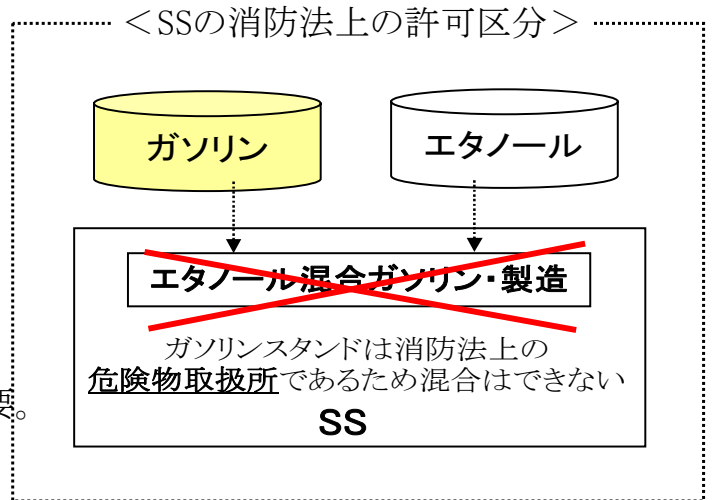
4. 消防法上の問題

安全上の観点からSSでガソリンにエタノールを混合することはできない

- ①消防法では、ガソリンにエタノールを混合する行為は「製造」と定義
- ②SSはガソリンの販売を目的とした「取扱所」であり、製造行為は禁止



SSとは別に危険物製造所を設置して、新たに消防法の許可、市町村火災防止条例の手続きなどが必要。



E3販売SSに対する消防庁の運用上の指針＝SS漏洩対策

- ①地下タンクの二重殻化 または、
- ②漏洩検査管による漏洩の有無の確認や在庫管理、1年に1回以上の漏洩点検が必要。

米国では、毎日2回の地下タンク底部の水分検査など厳格な水分管理がなされている。(自主的取組み)

5. 光化学スモッグ発生の問題

蒸発ガス(HC)が増加し光化学スモッグが発生する

ガソリンにエタノールを直接混合すると、①ガソリンの蒸気圧が上昇し、②光化学スモッグの原因の一つである蒸発ガス(HC)が増加する。

